

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/06/04

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.60	-0.22
JPY/THB	0.2345	0.0004
USD/JPY	156.08	-1.23
EUR/THB	39.92	-0.04
EUR/USD	1.0904	0.0056
USD/CNH	7.252	-0.011
SGD/THB	27.19	-0.06
AUD/THB	24.48	-0.03
USD/INR	83.15	-0.32
USD Index	104.14	-0.53

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.520	0.000
10Y (THB)	2.818	0.000
5Y (USD)	4.405	-0.102
10Y (USD)	4.388	-0.110

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,346.6	23.7
WTI (Oil)	74.22	-2.77
Copper	10,143.0	103.0

Stock

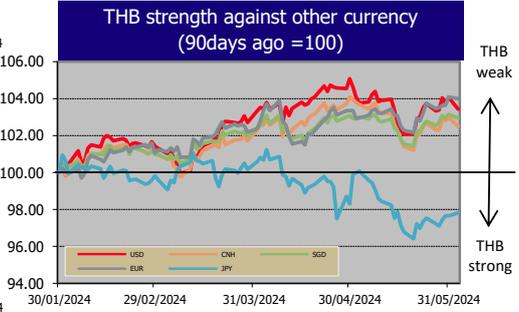
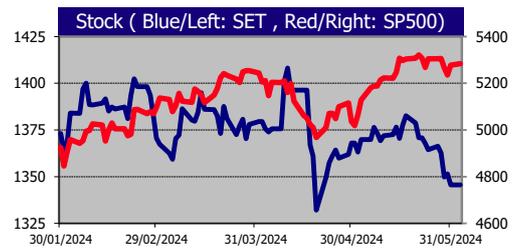
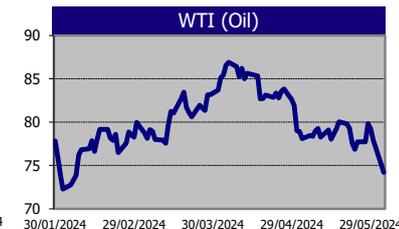
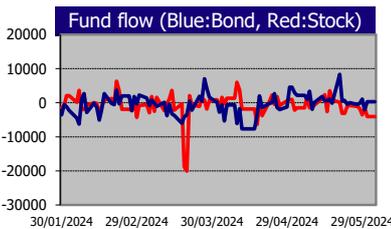
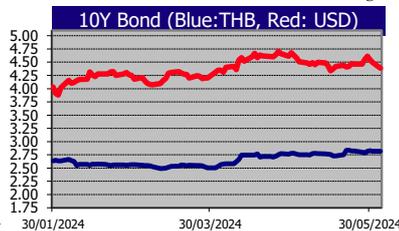
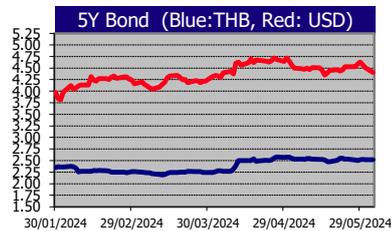
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,345.66	0.00
NIKKEI (JP)	38,923.03	435.13
DOW (US)	38,571.03	-115.29
S&P500 (US)	5,283.40	5.89
SHCOMP (CN)	3,078.49	-8.32
DAX(GER)	18,608.16	110.22

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(4,098)	0.0
Bond net flow	271	0.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・31日(金)のドルパーツは上昇。36パーツ台後半の水準で取引を開始すると、海外時間に米国物価関連指標の発表を控える中、じりじりと上昇する展開に。途中、タイ中銀から4月の同国貿易統計が公表されるもパーツ相場への影響は軽微なものに留まった。注目された米国経済指標は、4月PCEコアデフレーターは前年比・前月比ともに市場予想通りの結果となるも、同時に発表された個人支出(前月比)が予想対比弱かったことから、一時ドルパーツは下落。ただ、売り一巡後は結局下落前の水準まで戻し、36パーツ台後半の水準で週末の取引を終えた。週明け、タイ休日となった昨日のドルパーツは、海外時間にドル売り優勢地合い強まり、下落。米金利の低下に加え、米5月ISM製造業景況指数が市場予想を下回る結果となったことを受け、全般的にドルが低調な推移となり、ドルパーツも36パーツ台半ばまで下落。そのまま36.60レベルで引けた。

●ドル円その他

・31日(金)のドル円は小幅に上昇。157円ちょうど付近で取引を開始すると、じりじりと157円台前半まで上昇。米国経済指標の結果を受け一時下落するも、結局往ってこいの推移となり、157円台前半の水準で越えた。週明け、昨日のドル円は下落。157円台半ば付近まで上昇する場面も見せたが、米金利の低下、弱い米経済指標を受け下落。一時156円を割り込む場面を見せた。終盤にかけてはやや反発するも、同日安値水準での推移が続き、結局156.08レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

6月に入った。先月(5月)は主要中銀の会合がほとんど開催されなかった(FOMCは4月30日から5月1日にかけて開催されたが)ものの、今月はタイ中銀を含め、多くの中銀会合の開催が予定されている。かかる中、もちろん会合前に発表される経済指標の注目度が高まり、結果に相場が動かされる展開も想定されようが、会合自体においても、ECB理事会(6日)については市場では利下げが予想されているし、FOMC(11-12日)においてもドットチャートをはじめとした見通しの更新が予定されており、会合の結果・内容を受けた相場の動きにも注意が必要となる。先月、ドルパーツは37パーツ台前半からはじまり、一時35パーツ台後半まで下落し、終盤にかけて36パーツ台後半に戻すという、大きな動きを見せたが、引き続き今月もボラティリティの高まりには注意しておきたいところ。(末廣)